

令和7年度

第1回東毛地区人権教育指導者研修会

【演題】 誰もが共に支え合う「共生社会」に向けて
～日本人の人権意識と当事者の語りから考える～

【講師】 共愛学園前橋国際大学 国際社会学部 教授

西館 崇 氏



令和7年度第1回東毛地区人権教育指導者研修会が8/20（水）に太田市社会教育総合センターのホールで、東毛地区の各市町人権教育組織員、社会教育関係者、学校教育関係者、多文化共生部局関係者を対象に実施されました。

講演は、「外国籍の人たち」の人権に関する基礎知識や群馬県内の実情について具体的にお話いただきました。

また、外国にルーツをもつ共愛学園前橋国際大学の学生3名からお話を伺いました。日本で苦勞したことや必要とする支援、私生活、将来に向けた考えなど、様々な視点から語っていただきました。

参加者の方が、外国籍の人たちの思いにも触れることで、人権意識だけでなく、地域で共に生活を営む一員としてそうした人たちと関わっていく意味（多文化共生社会）の重要性を、身近に捉える機会となりました。

【参加者の声】

- わかりやすい資料に基づいた説明で理解しやすかったです。私達の認識を改めて考え直すきっかけになると感じました。外国人に対しても対話や交流をすること、地域の一人として受け入れることが絶対に必要で大切だと感じました。
- 学生の方の話を聞いて、企業の人権担当者対象の研修会を開催する予定なので、テーマを外国人にしたいと思いました。
- なかなか機会がない外国籍の方たちの生の声を直接聞くことができ良かったです。対等に協力し合える地域が少しでも築けるよう頑張っていこうと思いました。